

みたほうがいーよー

なんとかしたい

わたしの「シャホ」

発行 道北勤医協社保反核平和委員会 2020.2.20

地域にとって、なくてはならない病院を守りたい

病院の再編・統合問題について

中頓別国保病院を訪問

(道北勤医労 宮越書記長より)



中頓別国保病院前にて宮川道議と宮越書記長

2月18日、道北勤医労の宮越書記長と北海道社保協の沢野事務局長、日本共産党の宮川道議が中頓別国保病院と懇談しました。

昨年9月厚労省から発表された直後の町内・地域懇談会では住民の方々含めて「国保病院がなくなるの?」と心配の声が出されました。地域にとってなくてはならない病院。町長も含めて無くす事はない。守っていくと同懇談会で表明したそうです。

中頓別国保病院は、内科・外科で院長1人体制、地域医療振興財団からの応援で非常勤医師が週半分を持ち、週末は旭川医大から応援をもらっています。町内に個人病院がありますが人口1700人を抱える中頓別町の区域を一手に引き受けています。今後の方向性については、厚労省が出している発表には反対だが、医師体制や看護師の配置、技師の要請などの問題も抱えている事が出されました。

友の会として議会に意見書を!

和寒と美瑛友の会の取り組み

和寒友の会役員会では、昨年12月に発表された和寒町立病院の無床化について、役員会の中で意見交換を行いました。役員会に参加した下條町議からは「無床化の検討はされていたが、議会や関係する委員会で何も議論されないまま町長が無床化を発表した」との事。夜間の救急対応、入院となった場合の近郊(土別や旭川)に行く交通手段など、様々な問題が出され、友の会として町長と懇談ができないか、申し入れの準備を進める事となりました。

美瑛友の会役員会でも友の会として議会に地域医療を守る要請を行う準備を進めています。



病院への交通手段も深刻な問題です